

令和6年度事業の実績について

1 農地中間管理事業

令和6年度の公社の借り受け件数は3,435件（前年比114%）で農地面積は1,426ha（前年比110%）となった。また、公社が貸し付けた件数は2,202件（前年比111%）で農地面積は1,580ha（前年比110%）となり、借り受け、貸し付けとも前年比増となった。この要因は、市町村に対して相対から公社への契約切替推進の協力を得たためである。しかし、年度目標である2,000haには届かなかった。

（1）地域計画策定を基軸とした集積・集約化の促進

県と連携して地域計画策定の推進を図るとともに、機構駐在員が地域計画策定における協議の場に参加し支援を行った。結果、令和7年4月までに45市町村420地区にて地域計画が策定された。

公社独自のモデル地区を県下10カ所に設置し、基盤整備事業との連携や機構集積協力金の活用により集積・集約を推進した。結果、129haの集積につながった。

（2）農地関連法の本格的施行への対応

令和7年4月からの農地関連法の完全施行を見据え、市町村、農業委員会、JAに対し、貸借事務の手続きの変更点を周知するため説明会を開催した。併せて、相対契約の期間満了案件を中心に、公社への切替えを推進した。

農地の所有者および耕作者への周知を目的に、パンフレットを作成し配布するとともに、関係機関の協力を得て広報誌にも掲載した。

（3）基盤整備実施地区における推進

国営及び県営の基盤整備事業を対象に、農家負担の軽減策として地域集積協力金を活用した取組みを推進した結果、国営で1地区、県営で2地区の計3地区で54.3haの集積が図られた。

（4）新たな農地の受皿の確保と集積・集約の推進

（一社）熊本県農業法人協会と連携し、会員法人へ公社を活用した貸借への切替えを推進。結果、会員20法人で農地中間管理機構を介した貸借契約が55ha行われた。

昨年度から、公社が中間保有する農地を新規就農者用の研修用農地として活用する事業を実施しており、この研修事業に参加していた研修生4人は、令和6年度までに全員就農し、研修用農地4.9haのうち3.7haを新規就農者が借り受けた。

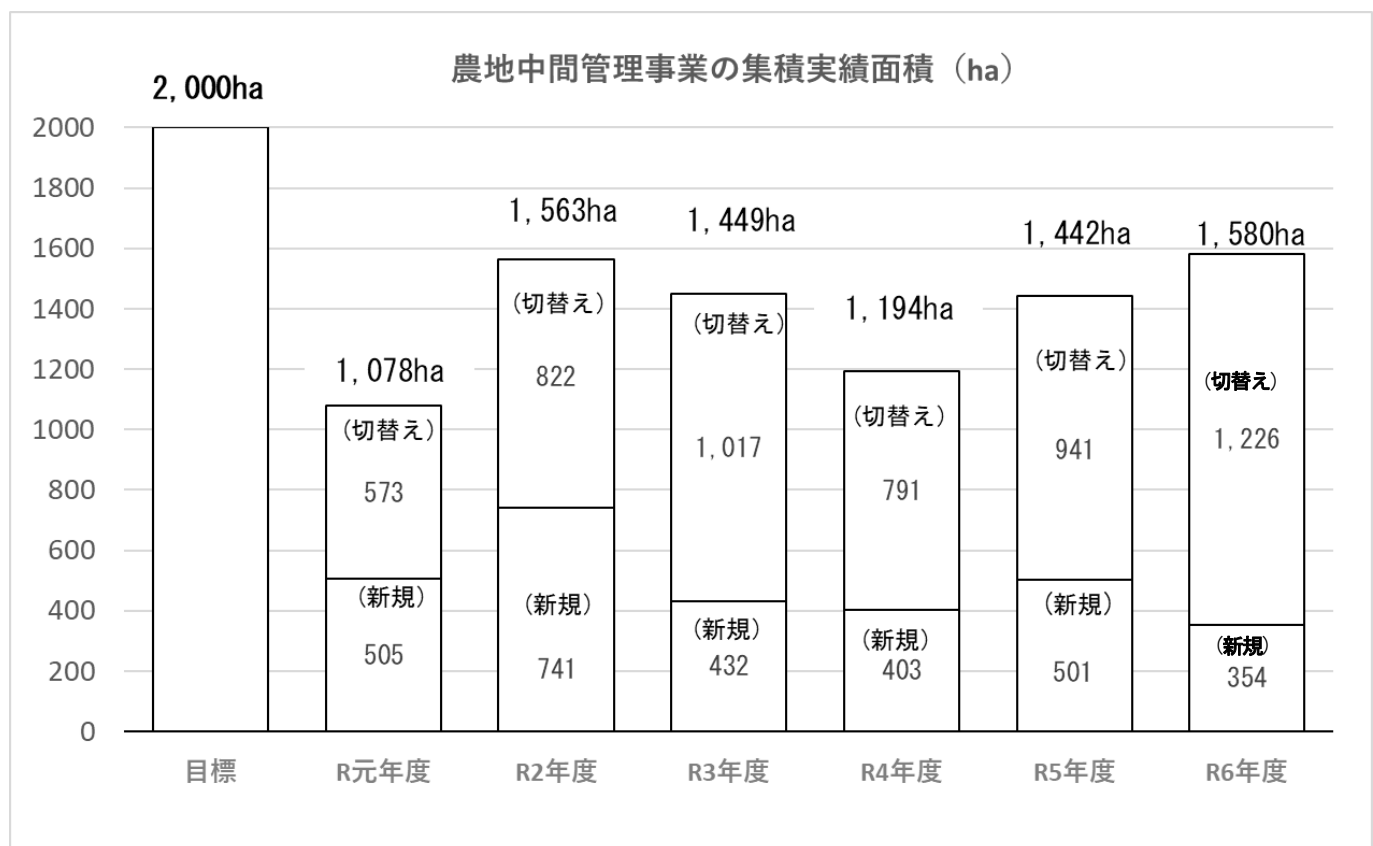
（5）中山間地域等における農地集積・集約化の展開

本年度採択の県営基盤整備地区での地域集積協力金の活用により、樹園地等82haを集積できた。また、県の補助事業を活用し遊休農地を解消し10.7haを集積した。

基盤整備や研修事業を活用した樹園地の集積・集約化の可能性について、駐在員等との検討会を実施した。

(単位:件, ha)

区 分		R6年度計画		R6年度実績		備 考
		件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	4,000	2,000	3,435	1,426	
	転貸	2,000	2,000	2,202	1,580	
※うち基盤整備との連携 (国営・県営)				3	54	



2 農地中間管理機構の特例事業（農地売買等事業）

農地の売買面積については、買入が152ha（計画比78%）、売渡152ha（計画比101%）となり、買入は計画を下回ったが売渡については計画を上回る実績となった。

なお、売買面積の昨年度実績との比較では、買入・売渡ともに106%となっている。

地域別の買入面積では、順に阿蘇地域、球磨地域、八代地域、熊本市、上益城地域となっており、全体の約8割を占めた。

特に八代地域では施設園芸農家が貸借から売買への切り替え、法人による大規模化及び集積、集約化が図られている。

その他、各地域共通の傾向として、地主は売りたいが買い手がいないなどの相談も増えてきている。

また、ほ場整備を契機とした従前地売買は増加傾向にあるが、今後大規模ほ場整備の計画はあるものの、現状として受け手の減少が問題になってきている。

区 分	R 6 年度計画		R 6 年度実績		計画比（%）
農地売買等事業	買入	510 件	買入	388 件	76
		195 ha		152 ha	78
		1,584 百万円		903 百万円	57
	売渡	389 件	売渡	335 件	86
		151 ha		152 ha	101
		1,212 百万円		932 百万円	77

3 新規就農支援事業

新規就農支援センターは、「農業経営基盤強化促進法」及び「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針(熊本県)」に基づく「熊本県農業経営・就農支援センター」の就農担当として、熊本県農業会議とともに就農希望者への就農相談等に取り組んだ。

(1) 新規就農支援センター機能強化事業

公社に就農相談員を3名、各地域に就農支援アドバイザーを11名配置し、就農希望者の相談に応じるとともに、センター主催等による就農・就業相談会を県内で9回開催した。

また、「新・農業人フェア」を始め県外の相談会に3回出展し、就農支援活動を行うとともに、ハローワーク熊本での出張相談を22回行った結果、就農相談件数は延べ683件(計画比114%)となった。※SMSを活用したアフターフォロー含む

就農支援資金については、既融資分の管理回収を行った。

(2) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益を活用、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等37件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

区 分	R 6 年度計画	R 6 年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(7) 就農相談活動	
	㊦相談件数 600 件	683 件
	①就農相談員の設置 3 名	3 名
	㊧就農相談会の開催及び参加	
	35 回	34 回
	・ 県内(熊本市等) (9 回)	(熊本市等) (9 回)
	・ 県外(東京、大阪、福岡等) (4 回)	(東京、大阪、福岡) (3 回)
	・ ハローワーク相談 (22 回)	(ハローワーク出張相談) (22 回)
	㊨無料職業紹介 10 件	0 件
	㊩情報の収集・提供	
	・ 関係機関情報交換会 2 回	2 回
	・ ウェブサイト情報更新 随時	更新回数 226 回
		SNS 更新 151 回
	・ 教育機関への情報提供 随時	3 回
	㊪親元就農リターン者相談 随時	1 回

区 分	R 6 年度計画	R 6 年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業 (再掲)	(イ) 新規就農者育成支援活動 ㊦就農支援アドバイザーの設置 11 名 ㊧就農後のフォロー 44 回 ㊨認定研修機関等との連携 ・熊本県就農支援機関協議会 随時 ・県立農業大学校等教育機関 随時 (ロ) バスツアーの開催及び支援 2 回 (ハ) 調査・研修等の活動 随時 (ニ) 就農支援資金の管理回収 ・JA 事務委託、現地調査等 15 件	11 名 88 回 認定研修機関連携会議、研究会、打合せ会議 4 回 研修生集合研修等 5 回 東海大学農学部へ説明 1 回 農大研修部へ説明 1 回 4 回 1 回 15 件
②新規就農支援 助成事業 ※基金運用益 を活用	(ア) 熊本県青年農業者クラブ連絡協 議会活動支援事業 1 件 (イ) 青年農業者海外派遣研修等支援 事業 2 件 (ロ) 学校農業クラブ等地域課題解決 活動支援事業 8 件 (ハ) 就農支援機関協議会助成事業 1 件 (ニ) 就農準備研修機関等支援事業 3 件 (ホ) 地域新規就農支援組織活動等 支援事業 7 件 (ヘ) 地方青年農業者クラブ課題解決 活動支援事業 11 件	1 件 1 件 10 件 1 件 3 件 10 件 11 件

4 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（５期目）の３年目となる令和６年度においては、農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信等に関するイベントのほか自主イベントとして「春・秋のバラまつり」、夏季の「水遊び広場」、年明けの「新春たこあげ大会」を実施した。

誘致イベントとして芝生広場を活用した、恒例のＪＡ植木まつり、農業フェア、公社と連携協定を締結している合志市の「合志市民まつり」、３回目となった熊本出身WANIMAが主催する音楽フェス１CANCE FESTIVAL2024、スポーツイベントとして、サッカー大会やマラソン大会等の誘致イベントも計画どおり実施することができた。

また、農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」は、幼稚園・保育園等を対象に甘藷、落花生、じゃがいも、大根の収穫等の体験農園を実施し、108団体9,310人（計画比116％）が参加、親子やグループを対象とした石窯ピザづくり等体験は、21団体647人の参加があったが、食の名人料理教室については、物産館等の改修工事に伴い会議室が利用できず実施できなかった。

こうした結果、令和６年度の総入園者数は約40万3千人（計画比82％）、有料入園者数約11万4千人（計画比116％）、無料入園者数約28万9千人（計画比74％）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園バラサポーター54名の登録を行い、バラ園管理などに参加いただいた。

(1) 入園者実績

（単位：人数、％）

入園者	R 6 年度計画	R 6 年度実績	計 画 比
総入園者	490,000	403,820	82
有料入園者	99,000	114,450	116
無料入園者	391,000	289,370	74

(2) 体験農園実績

（単位：延人数、％）

作 物	体験内容	R 6 年度計画	R 6 年度実績	計画比
体験農園		8,000(120 団体)	9,310(108 団体)	116(90)
落花生	植付、生育観察、 収穫	—	228(6 団体)	—
甘 藷	植付、生育観察、 収穫	—	6,447(70 団体)	—
じゃがいも	収穫	—	1,103(11 団体)	—
大 根	収穫	—	1,532(21 団体)	—

(3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項 目	R 6 年度計画	R 6 年度実績	計画比
食の体験	2,600 (60 団体)	647 (21 団体)	25 (35)
石窯ピザづくり等体験	－	647 (21 団体)	－
食の名人等料理教室	－	－	－

(4) 主なイベントの開催実績

① 自主イベント

イ ベ ント 名	開 催 日
春のバラまつり	5 月 10 日～19 日
水遊び広場	7 月 13 日～8 月 12 日
秋の野菜園芸講習会	8 月 10 日
秋のバラまつり	10 月 18 日～31 日
フラワーアレンジ教室(バラサポーター)	11 月 4 日
新春たこあげ大会	1 月 12 日
接ぎ木教室(バラサポーター)	1 月 26 日
春の野菜園芸講習会	3 月 30 日
体験農園 (落花生、甘藷、じゃがいも等)	4 月 1 日～3 月 31 日
石窯ピザづくり等体験	4 月 1 日～3 月 31 日

② 共催イベント

イ ベ ント 名	開 催 日
春のうまかもんフェア	5 月 11・12・18・19 日
秋のうまかもんフェア	10 月 19・20・26・27 日
夏休み自由研究(こどもの秘密基地)	7 月 27・28 日

③ 誘致イベント

イ ベ ント 名	開 催 日
竹とんぼ講習会	毎月第 1 日曜日
KJ リーグティーステップサッカー大会	6 月 30 日、7 月 7・21 日 9 月 1 日、11 月 23・24 日 12 月 15・21・22 日 3 月 16 日
大恐竜パーク	4 月～11 月(土・日・祝日)
コロッケ遊園地	4 月 6・7 日
第 3 4 回熊本県中古・実演機農業機械大展示会	4 月 11 日
NANAIRO マルシェ・九州肉フェス・粉もんフェス	4 月 13・14 日
九州蚤の市	4 月 20・21 日
第 1 6 回合志市子育てサポーターズサッカー大会	4 月 27・28 日
九州たこ焼きグランプリ	4 月 27・28 日
くぬぎの丘マルシェ	5 月 3 日～5 日
コスプレ撮影会	5 月 5 日

第12回くまもと唐揚げ選手権	5月11・12日
台熊祭々in合志市	5月18・19日
ファンタジックショー&グルメパーク	5月25日
アンビー合志保育園運動会	6月1日
コスプレ運動会・撮影会	6月2日
第3回LOVE熊本!走RUNね!たまねぎりレ ーマラソン	6月9日
寒蘭新芽展示会	7月7日
WANIMA pre. 1CANCE FESTIVAL2024	8月24・25日
C&K移動式遊園地	9月14・15日
第二幼稚園運動会	9月28日
紅白グルメフェス	9月28・29日
NANAIR0 マルシェ・九州肉フェス・粉もんフェス	10月5・6日
くまもと鶏万博2024	10月12・13日
Kumamoto カレー王座決定戦	10月19・20日
くぬぎの丘マルシェ	10月19・20日
ひのくに骨董市	10月19・20日
合志市民まつり	11月3日
2024くまもと農業フェア	11月9・10日
九州蚤の市	11月16・17日
寒蘭花展示会	11月30日
キッズベースボール運動会	11月30日
冬のほっこりポカポカグルメフェスティバル	11月30・12月1日
熊本県立ひのくに高等支援学校駅伝大会	12月13日
第18回合志市民健康カントリーマラソン大会	1月11日
第49回JA植木まつり	1月25日~2月24日
ひのくに骨董市	1月25・26日、2月1・2・8 9・15・16・22・23・24日
盆栽の展示	2月8日~10日
第21回無人ヘリコプター安全飛行技術競技熊本 大会	3月11日
謎解きウォーキングアルクエスト	3月8・9日
中古農業機械展示販売	3月13日
ファンタジックショーinカントリーパーク	3月22日

5 他団体からの委託事業

(1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務受託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項 目	R 6 年度計画	R 6 年度実績	計画比
取扱本数	2, 000	1, 201	60
受託料	400	186	47

6 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 7 回（会議開催 4 回、決議省略 3 回）、評議員会 3 回（会議開催 1 回、決議省略 2 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

（１）理事会

決議の省略の方法による理事会 （令和 6 年 5 月 2 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 43 回 理事会 （令和 6 年 6 月 11 日）

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

第 2 号議案 令和 5 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について

第 3 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

第 4 号議案 評議員候補者の推薦について

報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 9 名、出席監事数 2 名

第 44 回 理事会 （令和 6 年 6 月 27 日）

第 1 号議案 理事長の選定について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 9 名、出席監事数 3 名

決議の省略の方法による理事会 （令和 6 年 10 月 7 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 11 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 45 回 理事会 （令和 6 年 11 月 8 日）

第 1 号議案 諸規程の一部改正について

報告事項 令和6年度上半期における理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
令和6年度事業の中間報告について
財務の状況について
※上記議案について原案のとおり承認された。
出席理事数9名、出席監事数3名

決議の省略の方法による理事会（令和6年12月25日）

第1号議案 常勤役員の報酬について
※上記議案について理事11名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第46回 理事会（令和7年3月24日）

第1号議案 令和6年度収支予算書の変更について
第2号議案 令和7年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて
第3号議案 諸規程の一部改正について
第4号議案 役員賠償責任保険契約の締結について
第5号議案 事務局長等の重要な職員の選任及び解任について
報告事項 令和6年度下半期における理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
令和6年度事業の実績見込みについて
※上記議案について原案のとおり承認された。
出席理事数10名、出席監事数2名

（2）評議員会

決議の省略の方法による評議員会（令和6年5月17日）

第1号議案 役員の選任について
※上記議案について評議員7名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第12回 評議員会（令和6年6月27日）

第1号議案 評議員会長の選定について
第2号議案 令和5年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認について
第3号議案 役員の選任について
第4号議案 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
第5号議案 評議員選定委員の推薦について
報告事項 令和5年度事業報告について

※上記議案について原案のとおり承認された。
出席評議員数 4 名

決議の省略の方法による評議員会（令和 6 年 10 月 21 日）

第 1 号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員 7 名の全員同意で可決する旨
の決議があったものとみなされた。

（3）監査（令和 6 年 5 月 31 日）

令和 5 年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事（石原圭
一・亀割安博・久保田修）による監査が実施された。